

社会福祉法人福祉を共に考える会
2022年度（令和4年度）事業報告

1 法人本部

① 理事会

年月日	出席者数		決議事項
	理事	監事	
2022年 5月10日	5	2	2021年度（令和3年度）事業報告並びに計算関係書類及び財産目録の承認 2022年度（令和4年度）補正予算 役員の一部改選に伴う候補者の推薦について 2022年度（令和4年度）定時評議員会の日時、場所、議題等
10月17日	6	2	給与規程改定 2022年度（令和4年度）第2次補正予算
2023年 3月8日	6	2	2022年度（令和4年度）第3次補正予算 2023年度（令和5年度）事業計画及び当初予算

② 評議員会

年月日	出席者数			決議事項
	評議員	理事	監事	
2022年 5月31日	6	1	2	2021年度（令和3年度）事業報告の報告と計算関係書類及び財産目録の承認 役員の一部選任

③ 監事監査

年月日		内容・意見等
2022年 5月7日	決算監査	2021年度（令和3年度）事業報告と計算関係書類及び財産目録の監査 問題なく適正に処理されている
10月12日	定期監査	2022年度（令和4年度）運営状況及び会計等の中間監査 問題なく適正に処理されている

④ 御殿場市による指導監査 実施無し

⑤ 静岡県による障害福祉サービス事業者等の実地指導

年月日	対象事業所	出席者		指導事項		改善事項
		管理者	サービス管理責任者	改善指導事項	助言事項	
2022年 12月13日	つどいの家	1	1	なし	身体拘束の適正化のため、必要となる項目を盛り込んだ指針を速やかに作成してください。	左記の指針を2023年1月1日付けで作成しました。
	ケアホーム 杉名沢		1	なし	同上	

⑥ 役員等研修

年月日	役員名等	内容	主催	場所
2023年 3月13日	理事長	「地域における公益的な取組」実践事例 報告会 ウェブ開催	静岡県社会福祉法人経営者協議会	つどいの家

2 障がい福祉サービス等事業

① 生活介護「つどいの家」 定員20人

項目	内容等			
事業内容	A 全体活動（主に午前）：リサイクル処理、染色、畑作業、音楽、貼り絵、カレンダー作り、しおり作り、封入作業等 B 個別活動（主に午後）：絵を描く、色を塗る、散歩、音楽等 C 季節の行事：七夕、餅つき等 D 買物：月一回コンビニエンスストア及び近隣店舗での買物（昼食） E 個別外出：1年に1回、利用者と職員が基本的に1対1で希望する場所へ G 嘱託医による健康診断：(9/15,3/6)、他11月に順次、健康診断（検査）を実施（フジ虎ノ門整形外科病院）			
事業日時	月～金曜日（12/29～1/3を除く）及び第2・3・4土曜日 営業時間 9:00～17:00			
契約利用者数	21人			
1日あたりの平均利用者数	13.4人	平均障害支援区分	5.1	
障害支援区分 (2023/3/31現在)	区分3	4	5	6
	1人	6人	6人	8人
防災訓練	11/1			
苦情解決	なし			
事故報告	8件 4/22 利用者が近くにいた別の利用者に手を出し首にひっかけ傷 6/30 利用者の家族から連絡、右腕に3cmほどのアザ 原因不明 7/6 てんかんの発作に伴い、椅子から落ち頭部に赤みと腫れ 8/5 首（前側）に擦り傷 原因不明 8/15 利用者が近くにいた別の利用者に手を出し左の前腕（内側）に小さな傷 8/26 利用者が近くにいた別の利用者に手を出し首（背中側）左下にひっかけ傷 1/5 うどん作りの過程で、うどんを包丁で切る時、誤って左手親指先端を傷つけ、微量の出血 1/6 てんかんの発作により、椅子から滑り落ち、顔を椅子にぶつけた可能性あり			
ひやり・ハット報告	4件 12/9 利用者が敷地外へ一人で出かけようとした：すでに他の利用者・職員が散歩に行ったと思い、追いかけてようとした模様 12/22 12/9とは別の利用者が敷地外へ一人で出かけようとした：その前から散歩に行きたいとの訴えがあった 12/29 利用予定であった日中一時支援利用者（ケアホーム杉名沢利用者）の確認をしなかったため、1時間程、利用が遅れた。 1/6 12/9及び12/22の利用者とは別の利用者が敷地外へ一人で出かけ隣家周辺の道路を歩いていた 【対応】 西側出入口にチェーンを付け、非常時等の時、使用することとした。また、つどいの家入り口ドアに音の出る鈴をつけた。並びに、職員間で利用者の動きについて情報共有を図った。			

自動車事故	3/1 午後、利用者を自宅に送り届けた後、つどいの家に戻るため、交差点で信号待ちをしていた当法人所有の福祉車両（4人乗り）が、後ろから来た車両に追突された。その勢いで当法人の車両が、前の車両に追突、両方の車両に挟まれる形で運転していた職員1名が、肋骨を3本、骨折する怪我（全治6週間）を負った。 当該車両は、全損し廃棄処分になった。
現状と課題	利用者全体としては、職員の日頃の対応により比較的落ち着いて活動等に参加するなどして過ごしていた。 しかし、上記、ひやり・ハット報告や自動車事故のように突発的の事項に対するリスクの回避や軽減策について具体的に対応する必要がある。
その他	日中一時支援事業を実施 食事作りのボランティア1名（月に平均3回）

② 共同生活介護「ケアホーム杉名沢」定員10人

項目	内容等			
事業内容	A 平日（月～金曜日）の夕方（15:45）から翌日の朝（9:00）までと土・日曜日（終日）の日常生活支援：食事、入浴、排せつ等生活全般 B 買物：毎週土曜日等、地元商店等で買物			
利用者数	10人			
1日あたりの平均利用者数	8.8人			
障害支援区分 （2023/3/31 現在）	区分3	4	5	6
	1人	3人	4人	2人
防災訓練	7/7 11/4			
苦情解決	1件 2/14 《受付》職員による利用者支援に対する姿勢を改善してほしい 3/21 《結果報告》当該職員より利用者支援及び関係する事柄について誤りや不十分な点があったことを認め改善するとの回答があった。※			
事故報告	5件 6/24 利用者が近くにいた別の利用者に手を出し額にひっかき傷 8/15 椅子に座っていて床に転倒：医師の所見や状況から、脳貧血と思われる 12/17 入浴中、てんかんの発作が起き、洗面台に頭部をぶつけ腫れ、皮下出血：通院し頭部に異常なしとの診断 2/20 利用者が興奮し、入浴中であった別の利用者の髪の毛を掴んだ頭皮に赤みができた 3/24 つどいの家から、ケアホーム杉名沢まで歩いて帰る途中、足を滑らせ転倒：けがは無かった			
ひやり・ハット報告	1件 12/29 職員が、日中一時支援（つどいの家）を利用予定であった一人の利用者の存在を失念し、ケアホーム（自室）に朝、1時間程置いたままにしてしまった。※家族より、この内容に関連し、上記、苦情解決制度利用の申し出あり			
現状と課題	基本的には少人数での暮らしに利用者は落ち着きと安心感が得られていると感じた。ただし、事故報告でもあったように他の利用者の声等に過敏な利用者があり、利用者の居場所や距離感、そして職員の速やかな対応の必			

	要性を改めて確認した。
その他	短期入所事業（定員1人）及び日中一時支援事業を実施

③ 共に考える相談支援事業所、共に考える児童相談支援事業所

項目	内容等
事業内容及び年間利用回数	A 計画相談（サービス利用計画 14件、モニタリング 47件） B 障がい児相談（サービス利用計画 35件、モニタリング 70件） C その他必要な相談支援業務等
事業日時	月～金曜日（12/29～1/3を除く） 営業時間 9:00～17:00
契約利用者数	特定相談： 27人 障がい児相談： 35人
会議等（外部）	御殿場市・小山町自立支援協議会相談支援部会
現状と課題	御殿場市内や近隣市町に日中活動先、短期入所先の事業所が増えてきたことで、選択肢の幅が広がった。その一方で利用者の特性と合う利用先と出会うことが、難しい現状が一部見られた。

3 職員体制

2023年3月31日現在

(人)

事業所名	事業内容	管理者	サービス管理責任者等	生活支援員・世話人・看護師	
				常勤	非常勤
つどいの家	生活介護	1(◇)	1(☆)	1(☆) 7(◇)	1(☆) 6(◇)
ケホーム杉名沢	共同生活援助	1(◇)	1(◇)	7(◇)	1(☆) 5(◇)
共に考える相談支援事業所		1(◇)	1(☆)		

職員総数 19人（常勤 11人、非常勤 8人）

☆専従

◇兼務

4 職員研修

日程	人数参加	研修名・内容等	主催	場所
2022/7/5	1	御殿場市・小山町成年後見制度啓発講習会 ～成年後見制度の説明と障がい者の権利擁護等 講師：弁護士 内海雅秀 認定社会福祉士 古井慶治	御殿場市・小山町他	小山町総合文化会館
7/27	12	誤嚥防止、誤嚥時の対応について	法人	つどいの家
11/30	9	虐待防止について ～虐待防止チェックリストの集計結果（別紙資料参照）に基づき意見交換を行った	法人	つどいの家
11/28	1	発達支援研修会 ～一人ひとりの子どものニーズに合わせた支援 講師：西村医院小児外来 杉山修	障害児者発達相談支援センター	リモート
12/27	8	感染症予防及び対策について ～新型コロナウイルス感染症発症における対応など	法人	つどいの家
2023/2/15 他	1	障害者虐待防止、権利擁護研修 ～虐待防止の現状と理解及び事例検討等	静岡県	リモート

5 その他

① 新型コロナウイルス感染症関係（つどいの家及びケアホーム杉名沢）

(1) 2022年8月30～9月18日

- ・利用者7人、職員5人が、同感染症に感染し9月18日に終息した。
- ・感染経路は不明
- ・感染後の対策

A 利用者、職員に対し体温測定（以前から毎日実施）、簡易キットによる抗原検査（2回）の実施

B つどいの家を8月31日及び9月2日から6日まで休止し、休んでいる利用者の体調確認、建物・車両等の消毒を行った。

C ケアホーム杉名沢は、感染ゾーン、非感染ゾーン等に区分けし、感染症の拡大に務めた。

D つどいの家とケアホーム杉名沢の職員を必要期間、兼務ではなく、それぞれ分けて専従勤務とした。

(2) 2023年1月7日～16日（短期入所）

- ・短期入所利用者一人が同感染症に感染、他のケアホーム杉名沢の利用者及び職員は感染しなかった。

(3) 2023年1月8日～16日（つどいの家）

- ・職員2人が、自宅に於いて、それぞれ同感染症に感染、それ以前、ほとんど自宅で過ごしていたこともあり、感染は広がらなかった。

(4) 2023年1月15日～22日（ケアホーム杉名沢）

- ・利用者1人が同感染症に感染、それ以前、ほとんど自宅で過ごしていた（濃厚接触者）こともあり、感染は広がらなかった。

② 地域貢献事業

(1) 映画「星に語りて」を社会福祉法人すぎな（むつみ作業所）と共に上映会を開催

《場所》御殿場市民交流センター ふじさくら

《日程》2022年12月10日 二回上映

《映画の内容》東日本大震災により被災した障がい者の状況と支援者の活動を作業所を絡めて描いていた

《参加者の反応など》一日200人を超える参加者があり、大規模災害時における被災状況や対応の難しさとそれでも被災支援に取り組む支援者の姿がわかりやすく描かれていた。

(2) 御殿場市社会福祉協議会関係による地元、高齢者サロン参加者送迎の為に週一回、車両の貸出